

令和5年10月31日
九州地方整備局
福岡国道事務所

国道202号春吉橋架替および関連事業の整備状況等について

国道202号春吉橋架替および関連事業がこの度完了しましたので、整備状況や整備効果についてお知らせします。

【整備効果】

○春吉橋の架替による耐震性・安全性の向上

架橋後60年以上が経過し老朽化した春吉橋の架替により、耐震性や安全性が向上。

※地下鉄七隈線延伸事業に合わせて橋梁基礎の幅を変更するなど、2事業間で連携。

○河川改修等による流下能力の向上

春吉橋架替事業と合わせて、河川改修（河道拡幅）等を実施することにより流下能力が向上。

○歩行者の快適性・回遊性の向上

春吉橋周辺の道路空間再配分により、歩道幅員の確保や歩行者と自転車が分離され、歩行者の快適性や回遊性が向上。

○賑わい空間の創出（地域活性化を支援）

春吉橋架替時の迂回路橋を永久橋とし、賑わい空間として活用することにより、地域活性化を支援。

※福岡市においてPark-PFI制度を活用した都市公園としての整備を予定しており、現在、迂回路橋を暫定的にイベントができる公園として活用中。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所（TEL:092-681-4731（代表））

技術副所長 城戸 康介（きどやすのぶ）

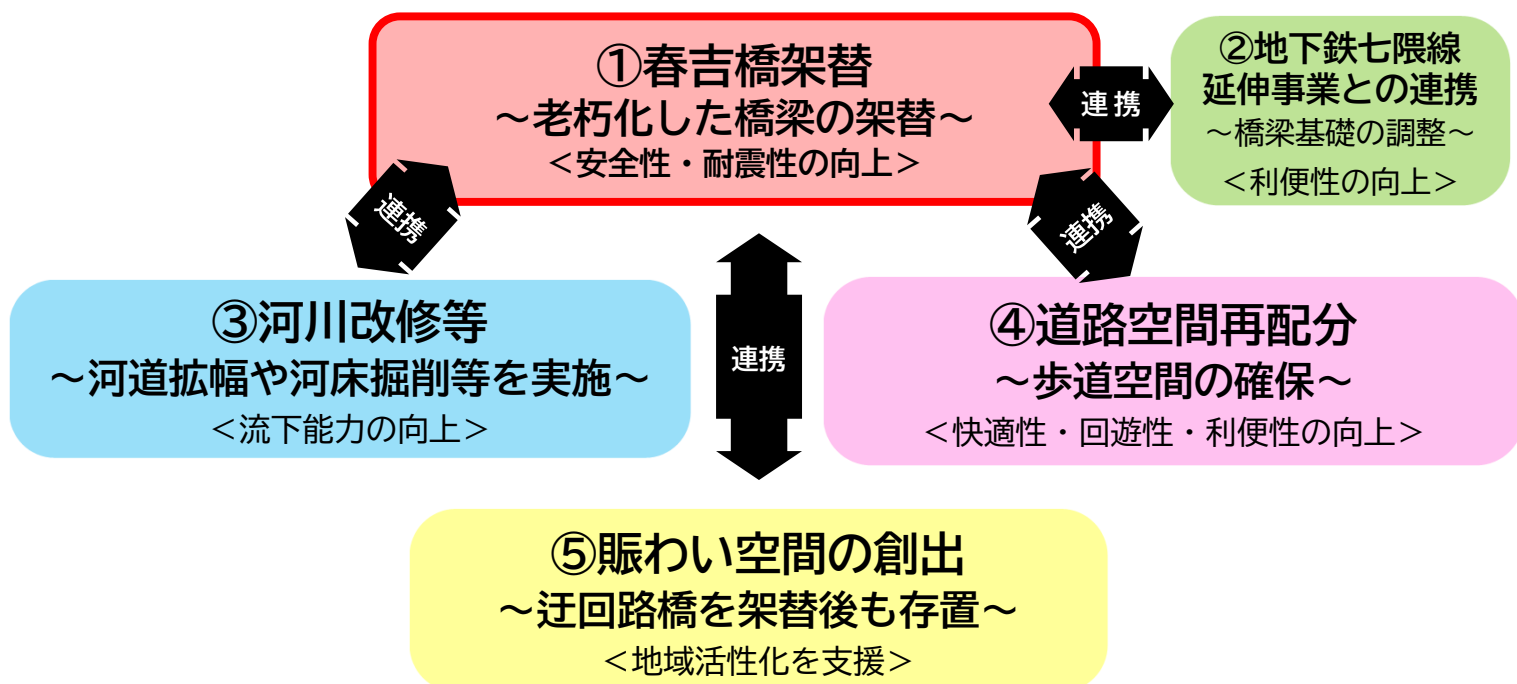
計画課長 木場 和俊（こばかずとし）

E-mail : qsr-fukkoku@ki.mlit.go.jp URL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

春吉橋周辺の整備内容



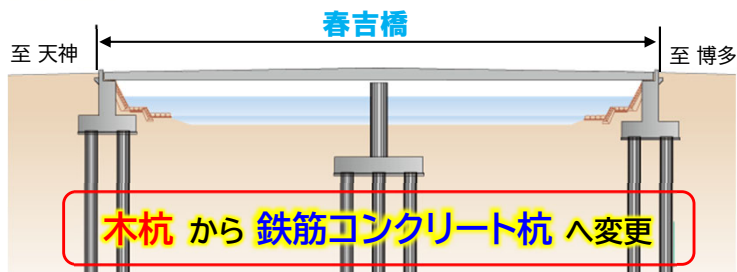
多様な事業が連携した春吉橋架替



① 春吉橋の架替による耐震性・安全性の向上

- 架橋後60年以上が経過し老朽化した春吉橋の架替(基礎構造もコンクリート杭へ変更)により、大規模地震に対する耐震性が向上。
- 架替に合わせて歩道や車道幅員を拡幅することにより、歩行者・自動車等の安全性が向上。

架替後 側面図

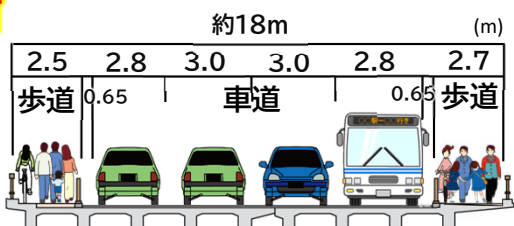


老朽化による
鉄筋露出や塩害
が発生

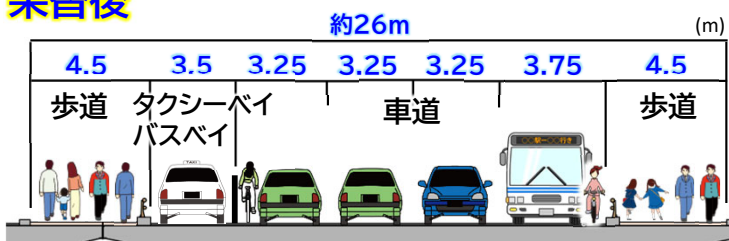


▲ 春吉橋の損傷状況(架替前)

架替前

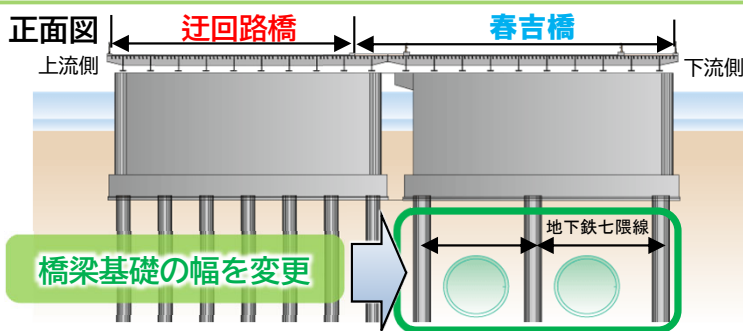


架替後



② 地下鉄七隈線延伸事業との連携

- 地下鉄七隈線延伸事業に合わせて橋梁基礎の幅を変更するなど、2つの事業が連携。



③ 河川改修等による流下能力の向上

- 春吉橋架替と合わせて、那珂川の河川改修(河道拡幅)等を実施することにより流下能力が向上。
- 天神地区では、R5年7月の豪雨時にH21年7月の豪雨を超える雨量を観測したが、冠水は発生なし。

架替前

径間数 = 6 (径間長 L = 約 10 m)



架替後

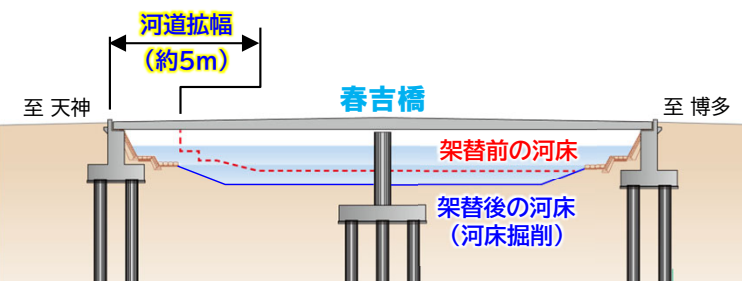
径間数 = 2 (径間長 L = 約 33 m)



架替前



架替後 側面図

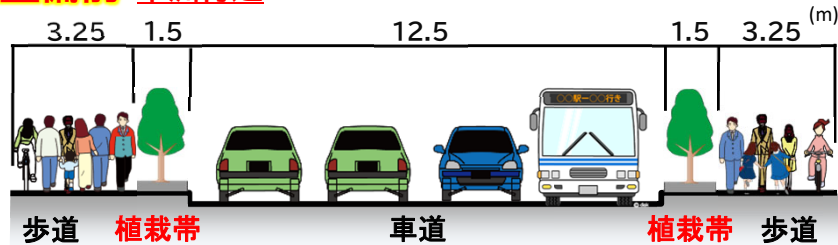


▲ 架替前後の河道と河床掘削の状況

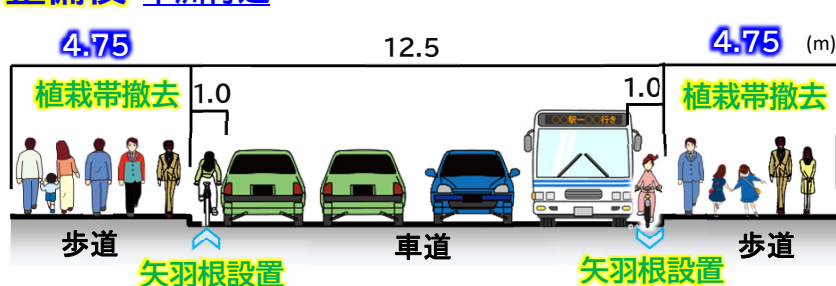
④ 道路空間再配分による快適性・回遊性、交通利便性の向上

- 植栽帯の撤去による歩道幅員の確保や、矢羽根の設置による歩行者と自転車の分離など、道路空間の再配分により「博多」と「天神」を結ぶ国体道路における歩行者の快適性・回遊性が向上。
- 新しい春吉橋にタクシーベイを設置し、国体道路における交通の利便性が向上。

整備前:中洲付近



整備後:中洲付近

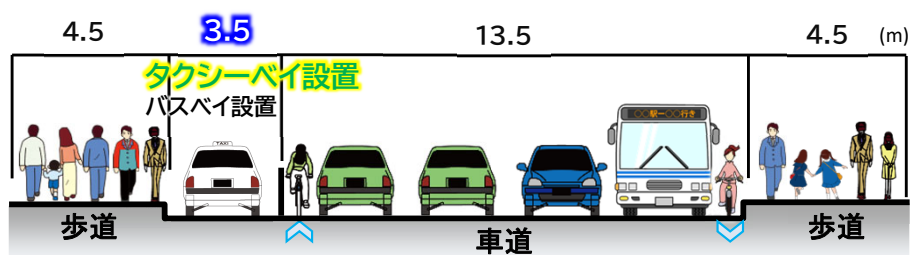


- ・狭い歩道に人や自転車がなくて歩きにくかったが、歩道が広くなって快適になり、人の回遊もよくなっています。
- ・植栽帯をごみ捨て場替わりに使う方もいなくなり、景観もよくなっています。



▲ まちづくり関連団体の声 (R5.9)

整備後:春吉橋



- ・乗車禁止区域(春吉橋西～祇園町西交差点間)での、道路への客の飛び出しによって、タクシーを急停車する等の危険な行為がなくなりました。
- ・タクシー乗場が明確化されたため、お客様からも便利になったと喜ばれています。



▲ タクシー事業者の声 (R5.9)



⑤ 賑わい空間の創出による地域活性化を支援

- 工事中に使用した迂回路橋を仮橋ではなく、永久橋とすることにより(※)、賑わい空間として活用することで地域活性化を支援。

※仮橋を永久橋とする費用は福岡市が負担

